

㊼ あじさい公園を守る会 (鳥取市)

鳥取市美萩野3丁目のJR末恒駅近くのあじさい公園を管理する。10人の会員の平均年齢は77歳。公園の花々の管理から冬はイルミネーションの点灯まで、地域の憩いの場を守っている。同公園は1982年に鳥取県住宅供給公社から市に移管された土地に、住民で結成した公園愛護会がアジサイを植栽したのが始まり。2011年までは各自治会や同会が管理していた。12年に中原司朗会長(83)を含めた3丁目の役員会メンバー14人で管理を引き受け、13年に守る会を結成。雑木



季節の花、冬のイルミも定着

アジサイの手入れをする
会員

の除去や草刈りなど自分たちで手入れをしている。アジサイの他にも、花壇には季節の花が咲き誇る。花壇の手入れは3～11月。12～2月は公園内の草刈りや清掃に汗を流す。会員自作のイルミネーションは冬の恒例となり、子どもたちの楽しみとなっている。材料は会員の持ち寄りや住民からの寄付がほとんどだという。

会員の年齢は75～83歳。ほぼ毎日、花壇の手入れや草刈りをしているが、活動を強制はしていない。全員が空き時間に立ち寄り、できることをして帰るスタイルだ。活動が周知され、今では近くの末恒小の児童が地域体験学習に訪れる。公園内を掃除したり、チューリップの球根を植えたりと、校外学習で定期的に訪問する。県がふるさと納税の仕組みを活用して地域づくり団体を応援する「ギフ鳥」の寄付対象団体にも登録され、活動への寄付を募っている。

今後は新たな花壇を新設する予定で、中原会長は「見に来てくれる人がいるのが生きがい。元気なうちは楽しみながら続けたい」と笑顔を見せた。



「ギフ鳥」の
詳細はこちら